



4月着任医師のご紹介！



氏名 すぎさわ りょうた 杉澤 良太
 診療科 消化器科・外科

＝コメント＝

外科の診療をさせていただいております杉沢良太です。長崎大学医学部を卒業後、浜松医科大学附属病院にて研修し、以後は市中病院にて勤務してきました。

本年4月1日付けで新城市民病院に赴任してまいりました。新城は水と空気がきれいなためか高齢の方も皆さん非常に元気で驚いております。新城の地の医療に貢献できることを大変光栄に思い日々働いております。

第41号
 新城市民病院広報委員会
 新城市字北畑32-1
 Tel 0536-23-7852 (総務課)
 Fax 0536-22-2850 (総務課)



氏名 まきの まみこ 牧野 真美子
 診療科 総合内科

＝コメント＝

皆様はじめまして。4月から総合内科に勤務させていただくことになりました牧野真美子と申します。

出身は豊橋市で新城は幼い頃から大変なじみのある場所です。実際に住むのは初めてですが、山や川、そして春は桜がとてもきれ

いで大変気に入っております。気候も温暖でこの地で仕事することができて嬉しいです。新城市及び周辺地域の住民の方が安心して暮らせるように病院内の先生方はもちろんのこと、開業医の先生方と協力してよりよい医療を提供していきたいです。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



4月28日(水)、地元の新柳野高校映画部の生徒さんが、院内で自主制作映画の撮影を行いました。
 監督、脚本、撮影スタッフから出演者まで、すべて同校の生徒さんと先生等の職員で行ってました。
 「青春もの」映画のようですが、どんな作品に仕上がるのか、今から楽しみでです。

黄柳野高校映画部
 院内で自主映画撮影

小児科 影山先生の 予防接種攻略ガイド その2

知っているようでよくわからない「予防接種」にまつわる疑問・質問に、小児科の影山先生がQ & A方式で分かりやすくお答えします。

Q.1 ヒブとか肺炎球菌のワクチンとか、よく聞くけど、何それ？



A.1

どちらも乳幼児、特に1歳未満の乳児に多い細菌性髄膜炎を引き起こす細菌に対するワクチンです。それぞれ生後2ヶ月以降に3回接種し、1歳以降に追加接種をします。ヒブは5歳未満に、肺炎球菌は9歳未満まで適応があります。細菌性髄膜炎は、抗菌治療の発達した現代においても一旦発症すると治療が難しく死亡率の高い病気です。わが国では年間約1000人が発症すると言われ、それほど珍しいものではありません。一方、海外では多くの国でこれらのワクチンが既に導入されており、細菌性髄膜炎は稀な病気になっているようです。



Q.2 ヒブと肺炎球菌ワクチンが重要なのは分かったけど、いつ打てばいいの？



A.2

新城市在住のお子さんは何はさておき、生後3〜4ヶ月で結核予防のワクチン(以下BCG)を打つことになっています。一つの案としては、BCG接種日より5週間前にヒブ①+肺炎球菌(以下SP)①、1週間にヒブ②+SP②、BCG接種後4週間でヒブ③+SP③を接種すると、現行では理想に近いスケジュールとなります。ちなみに、ワクチン接種の自己負担額は5万円弱です。子育て支援の一環として、自治体からの助成金が出ると良いのですが・・・。



Q.3 うちの子、日本脳炎ワクチン接種し損なっちゃったけど、まあ打たんでいいのかな？



A.3

日本脳炎は決して過去の病気ではありません。新城市でも昨年からは生後6ヶ月〜9ヶ月のお子さん対象の集団接種が再開

されました。未接種のお子さんは打たなくてよいわけではありません。是非とも自費での接種をお勧めします。



お手玉が奇贈されました

3月3日(水)、リハビリテーション科に鈴木千代さんからお手玉70個が奇贈されました。今まで使っていたお手玉に加え、さらに多くのお手玉が使用できるようになりました。本当にありがとうございました。



医師の異動のお知らせ

4月30日付退職

整形外科医師 大西 哲朗

